

令和2年度 卒業（修了）予定者 アンケート 結果報告

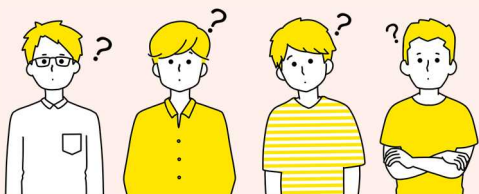
熊本大学 大学教育統括管理運営機構では、在学中に修得できた知識・技能や授業の経験等把握し、今後の教育改善のための基礎資料とするため令和2年度に最終年次に在学している学生を対象に学修成果の修得感や在学時の行動、教育や施設・設備に対する満足感等についてアンケートを実施いたしました。ここでは、アンケート結果の一部について、簡単にご紹介させていただきます。

調査概要

調査対象： 学部及び大学院の最終年次に在学している学生（令和3年1月31日在籍かつ卒業・修了見込者）

調査時期： 令和2年11月1日～
令和3年1月31日

回収状況： 学士課程 517票
大学院課程（前期） 226票
大学院課程（後期） 42票



卒業・修了時の 能力修得感 BEST3*

*「身についた」「やや身についた」の合計値

『学士課程』

01

92.8%

幅広い知識、ものの見方
【豊かな教養】

02

92.1%

専門分野に関する
知識・理解【確かな専門性】

03

87.0%

問題を見つけ、解決方法を
考える力【創造的な知性】

『修士・博士課程』

01

98.8%

専門分野に関する体系的な
知識・理解【高度な専門的
知識・技能及び研究力】

02

97.7%

問題を見つけ、解決方法を
考える力【学際的領域を理
解できる深奥な教養力】

03

96.3%

主体的に学習する態度
【高度な専門的知識・技能
及び研究力】

領域別満足度* （学士課程調査）

*「満足」「やや満足」の合計値

専門科目の授業	76.8%
図書館の環境や設備	66.9%
教室の設備環境	56.5%
教養教育の授業	56.3%
パソコンの利用環境	55.5%
外国語科目の授業	48.9%
就職に関する情報提供や相談	40.2%
無線LAN（Wi-Fi）などの 情報通信環境	36.6%

熊本大学 熊本大学の教育や施設等に関する満足度として最も高かった項目は「専門科目の授業」で最も低い項目は「無線LAN（Wi-Fi）などの情報通信環境」ということが分かりました。オンライン授業の受講環境を確保するためにも、無線LAN（Wi-Fi）など情報通信環境の整備がより一層求められていることが今回の調査より浮き彫りとなりました。また、外国語科目の授業や就職支援についても今後満足度を上げていく必要があります。

自由記述の傾向*

*自由記述108件のうち、5件以上使用された単語を抽出



アンケートの自由記述内からより学生の関心度が高い単語を抽出しました。最も使用頻度が高かったのは「授業」という単語で、教育に関する単語が多く使用されていました。また、Wi-Fi環境等を含めた施設に関する意見や就職活動に対する意見も多く寄せられ学生の関心度が高いことがわかります。自由記述の詳細は報告書本紙をご参照ください。（学内のみ公開。）